

会報 こほく

第36号
 滋賀県レイカディア大学
 同窓会湖北支部
 発行責任者 北村喜代嗣
 編集責任者 木田 勝幸

秋季 グラウンドゴルフ大会

令和元年10月5日、台風により順延になった秋季グラウンドゴルフ大会が「健康パークあざい」で開催されました。当日は台風一過の晴天に恵まれ、湖北各地から集まった35名が交流を深めました。

土川体育部長の開会宣言に続き北村支部長の挨拶と体育部よりルールや注意事項の説明があり、体育部の皆様のご協力のもと



レイカディア大学 同窓会湖北支部
 秋季グラウンドゴルフ大会

成績優秀者

優勝	安居 健次	52
準優勝	松岡 純次	55
三位	田中 教一	55

方向性を考え、歩
 き、熱中すること
 が出来るスポー
 ツですが、このこ
 とが、脳に良い刺
 激となり、認知症
 予防に大いに役
 立つと言われて
 おります。
 会員皆様のご
 協力ありがとうございました。

と三ゲーム二十四ホール、ストロークマッチプレーで行われました。日頃の練習とキャリアを生かし、競い合う中にも笑いがあり、会場あちこちで歓声が上がりました。和気あいあいの内に終了しました。成績優秀者は左表のとおりです。

互いに健闘を称えあい、意義深い親睦と交流の輪を広げる事が出来ました。

グラウンドゴルフは、打つ強弱



四支部親善 グラウンドゴルフ大会



開会式 北村支部長挨拶



四支部親善グラウンドゴルフ大会が10月11日、長浜バイオ大学ドームで開催され、大型台風が通る前日にもかかわらず四支部の各地から87名の会員が集まり、湖北支部からは38名が参加しました。

雨の心配もなく室内の人口芝の下、熱戦が繰り広げられました。

この日の結果は、なぜか5位までがすべて湖北支部の会員となりました。

グラウンドは人口芝で一見、平らに見えますが各コースには微妙にわずかさばかりの傾斜があり、普段この会場を使用する機会が多い湖北支部会員が慣れていたので、有利だったのかもしれない。

優勝は湖北支部清水明彦さんでスコア47、ホールインワン3本でした。

準優勝以下は成績が拮抗し複数の方が同順位となり、ニアピンプレイで順位が決まりました。結果は下記表のとおりです。

プレー中は他支部の方々とも情報交換をする等、和気あいあいの中に終える事が出来ました。

各支部の皆様、ご協力ありがとうございました。

順位	お名前	支部	スコア	1打数
優勝	清水 昭彦	湖北	47	3
準優勝	中川 義雄	湖北	52	4
3位	松岡 純次	湖北	52	1
4位	岸本 四郎	湖北	53	2
5位	松居伸二郎	湖北	54	1

成績優秀者



プレイオフの
順位決定



準優勝 中川善雄さん



優勝 清水昭彦さん



3位 松岡純次さん

新入会員の皆様

NEW MEMBERS

第四十期卒「米原校」

園芸学科

井上 末三

上杉 常也

小川 典久

澤邑 茂光

蓮井 實

北近江文化学科

遠藤 博

田中 信之

田中 幸男

西濱 捨男

馬場 壽夫

松浦 晴美

健康づくり学科

前川 秀和

湖北支部では毎年新入会員の歓迎会を開催しています。今年度は10月7日(月)、長浜市の豊公荘にて新入会員12名中11名と役員とで、ささやかな歓迎会を開催しました。北村支部長から湖北支部の組織や役員を今年度の総会資料などを基に説明がありました。新入会員の中にはすでに地域活動に積極的に活動されている方もおられ、これからの同窓会活動にも積極的な参加をお願いします。



参加者全員で



歓迎会

新入会員の皆様に投稿いただきました。

樹木図鑑を

もって出かけよう

40期園芸学科

井上 末三

家庭菜園をつくりながらぐまなスローライフを送ることを目標にしていたが、物足りなさがありレイカディア大学に入学しました。多くの仲間たちと出会い刺激を受け楽しく過ごすことができました。

園芸学科では講義と実習で花、野菜、果樹づくりや樹木の剪定、盆栽の基礎など初めて体験することや学んだことが沢山ありました。花も種からまいて開花するまでを楽しむこと。盆栽も種子から生育し育てるところで長期の楽しみ方。実習で何か所かの名利を訪問できたこと。樹木の剪定を学んで少し自信がついたこと等々。

これから山野・寺院・庭園には樹木図鑑をもって出かけよう。



学んだことを思いだし楽しみながら花、木の手入れをし野菜づくりをした。OB会の活動に参加できるよう健康シニアでいたいと思っています。

レイカディア大学に

入学して

40期健康づくり学科

前川 秀和

特段これといった趣味もなく、退職後はどのように過ごすのかと考えていたとき、当時の職場の上司から、「それからレイカディア大学に入学したら」との一声で入学を決意し、とても充実した2年間を過ごすことができました。

何と言っても、新たな出会いで多くの知人ができたこと、新たな知識や技術、そしてボランティア活動の大切さなどを学び、今後の暮らし方に大いに役立てるきっかけとなりました。

現役時代は、長距離の通勤などで不規則な生活を強いられていたことから、今後は「健康」に留意した生活をしながらはとの思いから、「健康づくり学科」に入学し、健康づくりのための生活や運動、福祉、介護、ストレス解消法などを学

びました。

特に、課題学習では、ボランティア活動や健康寿命を延ばすための体力作りに全員で取り組み、とても有意義で、仲間意識の醸成を図ることができました。なかでも体力作りでのウォーキングは、毎日歩く機会を見つけて体を動かすことに心がけた結果、以前に比べて体力が向上しているなど、ウォーキングの効果が実感できて、卒業した今でも継続しています。

また、ボランティア活動についての大切さや楽しさを体感することができ、今後は、地域で私に何かできることはないかと模索中です。

同窓

会に入会させたい、今後は支部の各行事にも参加して、新たな方々との交流を通じて活動の輪を広げていきたいと思っています。

特に、健康づくり学科から入会したのは私一人だけで大変淋しく感じておりますので、皆さんよろしく申し上げます。



日帰り研修旅行 薬師寺と興福寺

奈良への研修に参加して
三家 多賀成

美しい案内をTさんが届けてくださったので、再度行きたいと思っていた大和の二寺に行くことができました。バスでは昨年別の団体で一緒に旅した方と話が弾み、

いつの間にか薬師寺に着きました。唯一の創建当時の建造物という東塔は、修理中で残念ながら見られませんでした。かわりに(?)若い僧の話でリラックスしました。

薬師三尊(金銅仏)は確かに荘厳で傑作なのでしょうが、大きく威厳がありすぎて親しみは湧かず、湖北の柔らかな優美流麗な仏像のよさを思い起こしていました。

興福寺は、せっかくの宝物が狭い国宝館に詰め込まれ、裏側からの写真を添える等の工夫があればすばらしさが引き立つのに、と思いました。

群像がすべてそろっている八部衆像は、いずれも個性的に表現されていて見入りました。仏像という老翁が多い中で、五部浄・沙羯羅等の若者の像が印象的でした。特に阿修羅は、現場で三面

を同時に見てこそ迫力が強まると実感しました。簡素な衣も視線を顔に注ぐのに効果を挙げています。本面(正面)は南方(縄文)系の面立ちで、厳しき・愁いなど青年期にありがちな内面を秘めていて、いつまでも眺めていたい気がしました。八二年前に発見された旧山田寺の仏頭も、すっきりした彫りの顔面・遠くを望むきりつとした眼が心に残りました。

この二寺は、周到な謀殺や不当な自殺の強要など天智・天武・持統ら天皇家と藤原一統の血塗られた歴史があつての存在ですので、私はやや複雑な気持ちで帰ってきました。

奈良には、まだ解明されていないことがらを秘めた史跡等がありますし、これからも見学の機会を作ってくださいたいと願っています。



薬師寺にて法話を聞く



参加者 38名

ボランティア活動

昔の暮らし大変だね

38期園芸学科 中川幸治
小校3年生では社会科の授業で昔の暮らしについての勉強をしています。

浅井歴史民俗資料館では昔の暮らしを体験できる県内唯一の施設として長浜市内の小学校は勿論、彦根、および県外からも体験学習に來られます。

11月から2月にかけて約1500名ほど受け入れ、石臼回し・炭火アイロン・かきもち焼き・背負い子担ぎ・わらじ履き・脱穀(センバ抜き・足ふみ脱穀機)・唐箕回し・着物の着付け・昔のおもちや遊び、など昔の民具を体験します。

「浅井歴史の会」のメンバー



足踏み脱穀機



センバ抜き

で体験談や体験を通して、それぞれの道具が生活の中でどのように活用されたか子供達に分かりやすく説明しながら未来を担う子供達の心を育てる目的で学習支援活動をしています。

まちづくりの発展に寄与

32期園芸学科 眞壁栄祐
レイカディア大学卒業後は大学の趣旨である地域貢献として「サークルキラリ・びわ」の一員(会員数20名)に加入し、びわまちづくりセンター(旧びわ公民館)の各種事業に参加しサポートを行っています。

会の主な活動内容として、びわまちづくりセンター施設の剪定、葉刈り作業(年2回)ふるさと文化祭の準備、運営、後始末、年末の大掃除、竹生島のタブの木保全、また子ども達の校外実習の一環である通学合宿、フリマその他ボランティア活動等支授が主な内容です。

お互いが活動することによって会員間の交流を深めながらまちづくりの発展にも寄与しています。

訃報

謹んで哀悼の意を表し
心からご冥福を
お祈り申し上げます

26期文芸学科

中橋 絹子 様

令和元年 11月 16日 逝去

地域活動事例発表会

第十二回地域活動事例発表会が十一月十八日、近江八幡「ひまわり館」で開催されました。各支部の発表テーマは下表の通りです

湖北支部を代表して富永洋司さんが「奥びわ湖観光ボランティアガイド活動」をテーマに発表されました。

奥びわ湖観光ボランティアガイド活動

31期スポーツレクレーション学科

富永洋司

奥びわ湖観光ボランティアガイド協会は平成24年、四つの観光ボランティアガイド協会が統合して発足しました。



奥びわ湖観光ボランティアガイド協会の皆様

会長、副会長のもと会員は65名で、レイ大OB9名が活躍しています。当協会は、総務部・研修部・広報部・ガイド部の4つの部会で構成しています。ガイド活動を紹介しま

- ① 木之本宿・北國街道ガイド
② DW (Discover West) (JR西日本の観光促進目的キャンペーン)
③ JRふれあいハイキング
④ 一般依頼ガイド (旅行会社からのガイド依頼)
⑤ 観光公社依頼ガイド (小谷城登山バス・エスコートバスガイド・観音巡回バス)
⑥ 定点ガイド (賤ヶ岳山頂・木ノ本駅観光案内)
⑦ 館内ガイド (交遊館・余呉観光館)
⑧ SLガイド

発表中の富永洋司さん



- ⑨ 勉強会・研修・通常総会・定例会
⑩ 淡海観光ボランティアガイド連絡協議会
⑪ 広報の発行
このようにガイドエリアは長浜市の、湖北町・余呉町までの湖北一円です。湖北地方は自然、歴史、文化が共存し多くの観光客が訪れます。お客様を案内して、「良かったまた来ます！」と喜ばれた時は、やりがいと元気をもらえます。

- 私たちのボランティアガイドの心得です。
1、親切なおもてなしの心で、お客様をあたたくお迎えする。
2、私たちの地域の歴史や文化、湖北の豊かな自然をやさしくお伝えする。
3、学習、研修会で自己研鑽を行い、向上心、行動力で地域の観光発展につくす。
レイカディア大学で学んだ幅広い知識を、地域ボランティアガイド活動に生かしています。



石田三成が関ヶ原合戦後に隠れた「オトチの岩窟」



賤ヶ岳合戦での柴田勝家の本陣 玄蕃尾城



Table with 5 columns: No, 発表テーマ, 発表者, 卒期, 学科名, 支部名. It lists 9 presentation topics and their details.

滋賀県立長浜看護学校の支援

11月6日(水)午前9時30分、朝の気温は今秋一番の冷え込みでしたが、集合時間には快晴で暖かい日差しが校庭に会員16人が集合しました。作業前に教頭先生のご挨拶を受けて作業を開始。

女性会員は、校門横のツツジの来春の花芽に気を付けながら優しく剪定、男性会員は校庭管理人の指示で枯木を伐木、会員持参のチェーンソーが威力を発揮しました。

校門前庭の庭木の葉狩りには、持ち前のスキルを発揮し、見事な樹形仕立てに、高木になったグラウンドのイチヨウは、脚立作業での安全確保のため下枝の剪定を実施しました。作業後は、全員で剪定枝葉



作業前の安全ミーティング

を集積し後始末を実施。終了後、校長先生から感謝のお言葉と皆様のお見送りを受けました。



剪定中



参加者 16 名

二科展 絵画部門 入選

9月、東京の国立新美術館で行われた第104回二科展絵画部門で土川豊男さんの作品が入選しました。4年連続です。現在、体育部長として活躍いただいています。投稿いただきましたのでご紹介いたします。



31期園芸学科 土川豊男

私の趣味

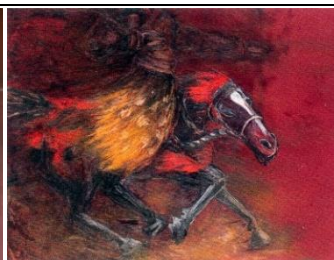
あなたの趣味は何ですかと聞かれることがあり「絵を描くことです」と答えるようにしています。



第 104 回二科展入選 足伏走馬

絵に興味を持つきっかけは小学校の時に、実家の前にある山の絵を描いて、それが当時の新聞に掲載されたことに始まります。随分昔のことですが、どんな絵であったのか今でも鮮明に覚えており、高校を卒業するまで美術の時間が好きでした。本格的に絵を習いだしたのは、10年ほど前から琵琶湖文化センターで、現在も続いています。

最近では流鏝馬(やぶさめ)などの神事を現地取材して、題材としています。先生の勧めもあり、二科展に挑戦するようになり、絵の大きさも80号〜100号と畳1枚ほどの大きさです。第101回〜第104回の連続入選を果たすことができました。



右から
第 101 回入選 流鏝馬 7
第 102 回入選 流鏝馬 8
第 103 回入選 競馬 1



ご長寿インタビュー

男性会員で人生の大先輩に、健康長寿の秘訣をお伺いしました

欄 又三郎さん (長浜学区3)



12期文化スポーツ学科 満100歳
大正8年3月8日生まれ

写真 右から

奥様

大塚副支部長

欄 又三郎さん

北村支部長



八月二五日午後、欄又三郎さん宅を訪ねました。欄又三郎さんと奥さん、嫁いでおられる姉妹の四人でお出迎えていただきました。

欄又三郎さんは、大正八年三月八日生まれで百歳になりました。

おしゃれなシャツをお召しになり、毎月の散髪はかかさずされ、髪の毛は綺麗に整えられて、とても百歳とは見えない紳士のお姿で対応いただきました。

レイカ大学に入学されました
事におたずねしました

入学のきっかけは忘れたが、当時は、老人大学と言いつつ、昭和何年かに、第十二期生、文化スポーツ学科に七〇歳で入学しました。

オートバイで通学していたが、通学途中に路肩で転倒して怪我をし日赤病院へ入院したが無事に卒業できました。

長生きの秘訣は

最近足が少し弱くなったが、近くを散歩し、ゴミ処理も分別回収日に出し、日常生活を規則正しく過ごして居る。健康診断も月一回受診し、どおっことも悪いところなく、皆さんのお蔭で長生きしています。

お楽しみは

以前は、パチンコが好きでしたが、この頃は野球観戦に。オリックスのファンでプロ野球シーズン中は、テレビで楽しんでる。メジャーリーグもCSテレビでも観戦している。今年も京セラドームに孫と観戦してきた。高校野球も好きでよく見てきた。

スポーツの経験は

ゲートボールは、四〇年間の審判の資格を持ち楽しんできた。グラウンドゴルフも、六荘地区の大会に出ることもあり、近くのコートで近所の方々と楽しんでる。



インタビュー中の又三郎さん

人生の思い出は

学校卒業後、京都の叔父さんの店で紙箱作りの修行を、していたころ、徴兵検査に合格し、満州の奥、北満でマイナス三〇度の厳しい所で兵役を三年間果たし無事帰国したが、又しても徴兵で本当は、南方へ行くところ、すでに船がなく東京の沖合、八丈島へ(冗談に)やらされ終戦をむかえた。除隊後、家にいるとヤンマーの長浜工場創業時に来てくれと言われ、勤めていた。

初代の山岡社長も居られた時代で旋盤加工に携わり六〇歳の定年を迎えた。

定年後は人と接し話するのが好きで長浜シルバー人材センターで長浜駅前駐車場の管理業務をしました。

何よりも皆様のお蔭で長生き出来ましたこと感謝しています。



筆立て

好きなお食事は

焼肉が好きで曾孫を誘い食べに行くのが好きで、うなぎも、最近穴子もやわらかいので好きになった。

家庭の食事は黒豆、鱈子、シラスが好きで今の季節は、南瓜の甘く煮たのも大好きです。

日常生活は

九〇歳迄オートバイに乗っていたが、家族に危ないと言われて乗らないが、家族は心配するが市内のスーパまで自転車で買い物に行く。

厚紙に千代紙を貼り、筆立てを創り、皆さんにお配りしている。

これからの目標は

来年の東京オリンピック観戦を楽しみに元気でいたい。これも皆様のおかげで生かされています。有り難い事です。毎日が感謝、感謝の気持ちで居ます。

玄関までお見送り頂きました



ご長寿インタビュー

人生の大先輩に健康長寿の秘訣をお伺いしました。

坂口 淑子さん(びわ地区南)



12期陶芸学科 満100歳
大正8年1月30日生まれ

9月21日午後、坂口淑子さん宅を訪問しました。

少し耳が不自由なようで、息子さんを通じてお話を伺いました。

坂口淑子さんは大正8年1月生まれで、今年百歳を迎えられました。

レイカディア大学では何を勉強されましたか

12期の陶芸学科に入り草津まで通っていました。

30位前、信楽鉄道の事故があった頃です。私が大津まで通勤していたので、米原駅まで一緒に乗せて通学していました。近所からも何人かが通っておられました。

陶芸をされるきっかけは

いきなり始めたわけではありません。畑に電気窯があり、父親が湖北の陶芸仲間と一緒に

に陶芸をやっていたからです。後に、大学教授になられた方や中学交教員、美容院の方々と一緒に作品作りに励んでいました。もう50年も前の話です。

父親が亡くなった後も、体力もあつたので近所の方々と一緒に作品を作っていました。

びわ町の文化祭にも出展していました。

食事で気を付けている事はありますか

半年前までは自分で作っていました。

材料を紙に書き、それを家族のものを買ってきていました。

最近では体力がなくなり家族が作っています。

消化のいいものを1日2食、昼と夜に食べています。

特に好みがあるわけではなく肉もあれば魚もありバランスの良い食事をしています。

2〜3年前までは漬物を自分で作っていました。

20〜30m歩ける事は素晴らしいことです

6歳下の妹が施設に入っていて、去年までは見舞いに行っていました。自分もやがて同じような状態になると分かっていると思います。なるべく家の中で歩くようにしています。今、デイサービス等は一切利用していません。

近所の方との触れ合いは

3か月前までは、1週間に1度、ちぎり絵を近所の5〜6人に教えに行っていました。

親子くらしいの年の差がありま

す。終わった後、お茶や、おしやべりを楽しんでいました。

1年前までは長浜まで教えに行っていました。弁当が出て、皆が順番にお菓子を持ってきて、終わった後のおしゃべりを楽しんでいました。

もう一つの趣味、ちぎり絵を見せていただきました

陶芸と並行してちぎり絵もやっています。ちぎり絵はそれほど体力がいらないので去年まで作品を作っていました。

去年の文化祭に出した作品です。

題材には写真等のモデルがあり、それを見ながら、ちぎって作品を作っていきます。

10年位はちぎり絵に没頭してました。

手を動かすという事が頭にも体にも良いと思います。

この作品で何か月くらいかかっていますか

「ほんなかかりません。2か月くらいです。このちぎり絵だけをしますから。」

例えば、緑だけでも何十種類とあります。使い分けるのが大変だと思います。

肩はこりませんか

「自分の好きな事をやってるので肩はこりません」



最近作られたという右の作品は水彩画のように見え、色合いの微妙な違いがよく出ています。

何かに没頭することが、頭にも体にも良い刺激・運動になっていると思います。

人生の中で感動、印象に残っている事はありますか

結婚するまでは長浜女学校の教師をしていました。戦時中で授業はなく出征された農家のお手伝いに女学生を連れて、勤労動員に行っていました。男子は入江、松原の干拓事業に、

女子は、この辺りは農村地帯です。田植え、稲刈りと農家のお手伝いをしていました。

前任の高島女学校ではお寺が宿舎になっていて、こちらに帰ってくる時は船で帰っていました。

当時は物の輸送、人の行き来は、湖上の船がかなり重要な位置を占めていたようです。

南浜に当時の棧橋の残りが残っていました。

貴重なお話をお聞かせいただきありがとうございます。

写真 右から
中川地区幹事
北村支部長
坂口淑子さん
大塚副支部長
ご家族の方

